

セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド



運用報告書(全体版)

第10期(決算日 2016年12月12日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、主として米国バンガード社が運用する株式と債券のそれぞれのインデックスファンドの中から資産規模、運用実績、コストなどの面から厳選したファンドに分散投資します。具体的な資産配分は運用状況ならびに市場状況に応じて随時変更(増減ならびに入替など)します。原則として、為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	有価証券に投資する外国投資証券を投資対象とします。
組入制限	①外貨建資産への投資には制限を設けません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券ならびに短期金融資産以外の有価証券への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

受益者の皆さまへ

平素は「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当ファンドは2016年12月12日に第10期決算を行いましたので、当期の運用状況をまとめております。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を、変わらずに行って参りましたこと合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期投資の充実のため、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



セゾン投信

■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口
〒170-6037 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 37F
[ホームページ] <http://www.saison-am.co.jp>
[電話番号] 03-3988-8668
[営業時間] 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

ごあいさつ

当ファンドの第10期は、前半世界の金融市場がリスクオフのトレンドを深耕させる中、急激な円高を伴ったことから、基準価額が大きく調整を余儀なくされ、しばしボックス圏の旅が続きましたが、11月の米大統領選挙以降、期末まで急速なリスクオンと円高局面の修正に拠って、期中を通じての運用成績はほぼ期初の水準を回復する、いわゆる「行って来い」の1年でありました。

期中の外部環境は、英EU離脱に米大統領選のトランプ氏勝利と、マーケットが織り込んでいた結果とは逆の「想定外」な事象が繰り返され、稀に見るマーケットの短期的な上下動が発生する、不安定な価格水準の度重なる修正があった一方、世界の实体经济はそれら政治的イベントに実質的には影響されることなく、若干ペースは鈍りながらも巡行速度内な安定した成長軌道を堅持していると認識しています。

グローバリゼーション構造が展開されてから四半世紀を経て、世界は着実に成長の果実を享受する地域を拡大し続けて来ていますが、そうした富の均質化(フラットニング)の進展は、とりわけ先進国社会においてグローバリゼーションの変化への適応力の差として優勝劣敗が顕在化して、「格差」拡大というカタチで政治的ポピュリズムの台頭を起こしています。

そうした政治的混乱は、2017年もグローバルな不確実性として日々のマーケットを変動させる要因となりそうですが、地球経済が一体として穏やかに成長を積み上げて行くグローバリゼーション構造に参加し、その果実を求める地域と人々は着実に拡大を続けています。

そしてインターネット・情報技術の進化が、AI・クラウド・IoTといった新たな産業間のイノベーションをもたらして、世界経済はより豊かで便利な社会を目指して、間違いなく成長の果実を育んでいるのです。この新産業革命を主導する米国経済が、最も安定した景気拡大のトレンドをより堅固にする中で、地球経済はトータルとしてその恩恵を享受して、2017年も相応の安定した成長軌道を維持して行くはずです。

当ファンドはそうしたグローバリゼーションの新たなメガトレンドに自然体に乗って、その成長からゆったりとお金を育てて行く為の長距離列車です。お蔭様で当期中に当該純資産残高は192億円増加して1264億円と、日本を代表する長期国際分散投資ファンドに成長して参りました。

「セゾン号」乗客の皆さまには、長期投資の旅を続けていただいていることに乗務員一同感謝申し上げると共に、第10期の運用状況を報告させていただきます。

代表取締役社長 中野 晴啓

運用担当者の紹介

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、世界の優れたリソースを活用しながら、日本の生活者の方の長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、4人のチームで運用を行っています。

代表取締役社長、CIO(チーフインベストメントオフィサー)

中野 晴啓



主な役割

運用の基本的な方向性の指示

運用経験年数 26年

経歴

1987年	明治大学商学部卒業
1987年	株式会社クレディセゾン入社。セゾングループの金融子会社にて債券ポートフォリオを中心に資金運用業務に従事した後、投資顧問事業を立ち上げ運用責任者としてグループ資金の運用のほか外国籍投資信託をはじめとした海外契約資産等の運用アドバイスを手がける。その後、2006年セゾン投信を設立。2007年4月から現職。

運用部アナリスト

奥山 勉



主な役割

マクロ経済環境の調査、ファンドのリスク分析

運用経験年数 11年

経歴

1987年	早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
1987年	株式会社クレディセゾン入社。クレディセゾン及びセゾングループでの投資業務等に従事した後、2011年からセゾン投信にて現職。
	公益社団法人日本証券アナリスト協会検定会員 中央大学大学院国際会計研究科修了(ファイナンス)

運用部長、ポートフォリオマネジャー

瀬下 哲雄



主な役割

運用方針の決定、資産配分比率の決定、キャッシュフローの管理

運用経験年数 10年

経歴

1996年	上智大学経済学部経営学科卒業
2006年	セゾン投信入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネジャー、2014年から現職。

運用部アナリスト

伝能 浩



主な役割

新規組入れファンドの調査、国際政治情勢分析

運用経験年数 7年

経歴

2002年	慶應義塾大学法学部政治学科卒業
2009年	独立系資産運用会社においてバックオフィス関連業務や運用業務等に従事した後、2015年セゾン投信入社。2016年から現職。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) 合成指数		為替レート		投資対象ファンド組入比率									純資産総額
	(分配) 税込み 分配金	期中 騰落率	騰落率	期中 騰落率	米ドル /円	ユーロ /円	投資証券 組入比率	U.S.500 ストック	ヨーロッパ ストック	ジャパン ストック	ボフィック・ エクスジャル ファンド	エマーゾング・ マーケット・ ストック	U.S. ガバメント・ ボンド	ユーロ・ ガバメント・ ボンド	ジャパン・ ガバメント・ ボンド		
第6期 2012年12月10日	円 8,309	円 -	% 15.0	% 9,438	% 15.5	米ドル /円 82.55	ユーロ /円 106.56	% 99.8	% 24.4	% 12.7	% 3.8	% 2.7	% 6.7	% 20.7	% 17.9	% 10.8	百万円 50,743
第7期 2013年12月10日	11,347	-	36.6	12,744	35.0	103.35	141.96	99.5	25.0	12.8	4.0	2.4	5.8	21.0	19.4	9.0	68,517
第8期 2014年12月10日	13,561	-	19.5	15,194	19.2	119.46	147.89	99.4	26.7	11.8	3.9	2.3	5.5	21.7	19.4	8.1	90,887
第9期 2015年12月10日	13,406	-	△1.1	15,127	△0.4	121.50	133.86	99.5	27.3	11.5	4.2	2.0	4.7	23.7	18.7	7.4	107,188
第10期 2016年12月12日	13,181	-	△1.7	15,188	0.4	115.47	121.69	99.4	28.3	10.9	4.1	2.1	5.6	23.9	17.3	7.1	126,394

- ・基準価額は1万円当たりです。
- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)とブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組合せた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。参考指数は、設定日(2007年3月15日)の値を10,000として委託会社が計算したものです。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。
- ・騰落率、小数点第2位を四捨五入しています。
- ・組入比率は、対純資産総額です。組入比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・為替レート(米ドル/円、ユーロ/円)は、わが国の対顧客電信売買仲値を利用しています。
- ・純資産総額の単位未満は、切捨てて表示しております。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) 合成指数		投資対象ファンド組入比率								
	騰落率	騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率	投資証券 組入比率	U.S.500 ストック	ヨーロッパ ストック	ジャパン ストック	ボフィック・ エクスジャル ファンド	エマーゾング・ マーケット・ ストック	U.S. ガバメント・ ボンド	ユーロ・ ガバメント・ ボンド	ジャパン・ ガバメント・ ボンド
(期首) 2015年12月10日	円 %	% -	% 15,127	% -	% 99.5	% 27.3	% 11.5	% 4.2	% 2.0	% 4.7	% 23.7	% 18.7	% 7.4
12月末	13,253	△1.1	15,085	△0.3	98.8	27.2	11.4	4.1	2.0	4.7	24.0	18.1	7.4
2016年 1月末	12,824	△4.3	14,562	△3.7	98.9	26.6	11.5	4.0	2.0	4.9	24.3	18.5	7.1
2月末	12,294	△8.3	14,085	△6.9	99.0	27.4	10.9	4.1	1.9	4.9	24.2	18.1	7.5
3月末	12,700	△5.3	14,454	△4.4	99.1	27.5	11.3	4.1	2.0	5.1	23.8	17.9	7.4
4月末	12,525	△6.6	14,368	△5.0	99.0	27.2	11.4	4.2	2.1	5.2	23.2	18.2	7.5
5月末	12,606	△6.0	14,547	△3.8	99.1	27.5	11.6	4.0	2.0	5.2	23.1	18.2	7.5
6月末	11,648	△13.1	13,486	△10.9	99.0	26.8	10.7	4.0	2.0	5.2	23.9	18.4	8.1
7月末	12,222	△8.8	14,085	△6.9	99.1	27.6	11.4	4.0	2.1	5.3	23.3	17.8	7.5
8月末	12,140	△9.4	14,114	△6.7	99.1	27.3	11.3	4.0	2.1	5.4	23.8	17.8	7.6
9月末	11,958	△10.8	13,887	△8.2	99.0	27.0	11.1	4.0	2.1	5.5	23.7	17.9	7.7
10月末	12,125	△9.6	13,997	△7.5	99.0	27.1	11.0	4.1	2.1	5.6	23.9	17.7	7.6
11月末	12,782	△4.7	14,724	△2.7	99.2	28.5	10.7	4.1	2.1	5.5	23.8	17.3	7.2
(期末) 2016年12月12日	円 %	% △1.7	% 15,188	% 0.4	% 99.4	% 28.3	% 10.9	% 4.1	% 2.1	% 5.6	% 23.9	% 17.3	% 7.1

- ・騰落率は期首比です。
- ・組入比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

当期の運用状況と今後の運用方針

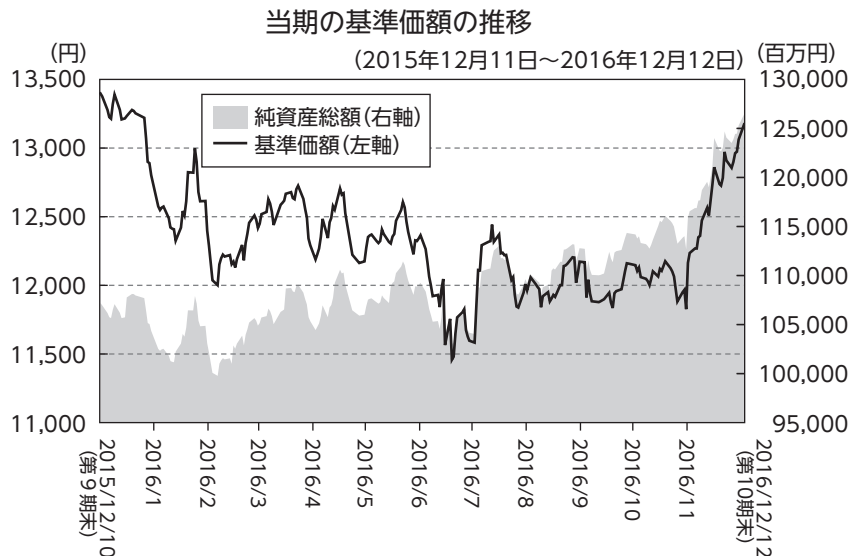
期中の基準価額等の推移

当ファンドの第10期(2015年12月11日～2016年12月12日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額の推移は、2016年6月28日に11,458円の最安値を、2015年12月18日に13,389円の最高値を付け、当期末の基準価額は13,181円となりました。設定から当期末までの基準価額の騰落率は31.81%、当期の騰落率は△1.68%でした。

【基準価額のハイライト】

	基準価額	日付
安値	11,458円	2016年6月28日
高値	13,389円	2015年12月18日



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示していません。
- ・表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【基準価額の主な変動要因】

当期は、株式に投資するファンドが日本に投資するものを除いて上昇して基準価額の上昇要因となり、債券に投資するファンドが全て上昇して基準価額の上昇要因となりました。為替は対ドル、対ユーロで円高となり基準価額の下落要因となりました。

< 基準価額のプラス要因 >

バンガード®・U.S.500ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (円)
バンガード・パシフィック・エクス・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (ユーロ)
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (ユーロ)

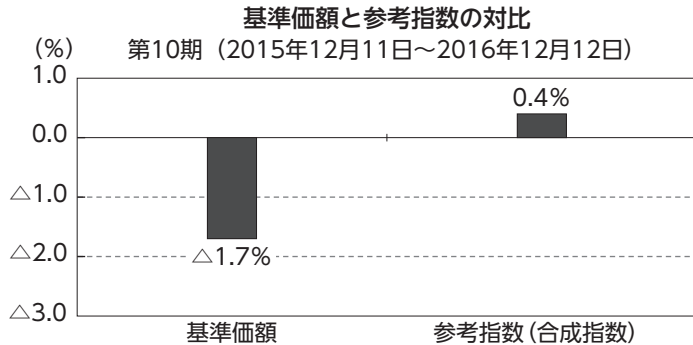
期中騰落率
△1.7%

バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド (円)
対ドルでの為替レート (円高)
対ユーロでの為替レート (円高)

< 基準価額のマイナス要因 >

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)とブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組合せた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。

当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き、積立やスポット購入により受益者の皆様からお預かりした資金を利用して定められた投資比率に従って各ファンドへの投資を行い、株式と債券の比率が乖離した局面では、比率の高まったファンドを売却し、比率の低下したファンドを購入することにより、リバランスを行いました。

当期は、株式市場が軟調な展開となった6月までは株式ファンドを中心に投資を行い、その後は株式市場が上昇基調となるなかで、債券ファンドを中心に投資を行いました。なお、債券ファンドの比率が大きく上昇した1月と6月、及び株式ファンドの比率が大きく上昇した12月には比率が上昇したファンドを売却し、比率が低下したファンドを購入することにより、リバランスを行いました。

投資環境

【株式市場の概況】

2016年の初頭から中国経済の先行きに対する懸念が拡がり大きく下落したものの、その後は先進国で金融緩和の長期化観測が高まって、落ち着きを取り戻して反発に転じました。6月にはイギリスで行われた国民投票で欧州連合(EU)からの離脱が選択され、先行きへの不透明感が広がったものの、先進国で金融緩和の長期化観測が一段と高まったことを受けて落ち着いた展開が継続しました。11月に行われた米国の大統領選挙では大方の予想を覆してトランプ候補が勝利した後、トランプ次期政権が打ち出す経済政策への期待が高まって、上昇しました。

地域別では、米国は利上げ観測が後退したことから比較的堅調な展開となり、終盤にはトランプ次期政権への期待が高まって上昇しました。欧州は経済統合の動きが後退し、先行きへの不透明感が根強いものの、金融緩和策に支えられて、底堅い展開となりました。日本は途中まで為替市場で円高となったことから軟調な推移となりましたが、終盤に円安に転じて反発しました。太平洋地域や新興国は、景気の先行きに対する悲観的な見方が和らいだほか、先進国で金融緩和の長期化観測が高まったことを背景に資金流出への懸念が和らぎ、比較的堅調な動きとなりました。

セクター別では、資源価格の上昇を受けてエネルギー、素材セクターが大きく上昇したほか、米国の大統領選挙後に規制緩和への期待が高まったことを受けて金融セクターが大きく上昇した一方で、薬価の高騰による公的負担拡大への懸念が高まったことを受けてヘルスケアセクターが下落しました。

【国債市場の概況】

2015年12月に米国で利上げが行われたものの、2016年に入ってから、中国経済の先行きに対する懸念が高まるなかで、米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方が広がったほか、日本やユーロ圏で追加の金融緩和策が打ち出されたことから、堅調な展開となりました。6月にはイギリスで行われた国民投票で欧州連合(EU)からの離脱が選択され、先行きに対する不透明感が高まったことで、金融緩和の長期化観測が一段と高まって上昇し、その後も世界的な成長力の鈍化懸念や物価の伸びの低迷を背景に堅調な展開が継続しました。しかし、11月に行われた米国の大統領選挙で大方の予想を覆してトランプ候補が勝利すると、米国で財政支出の拡大と減税が行われて財政赤字が拡大すると共に物価が上昇すると見方が拡がって下落しました。

米国債は、途中まで景気の先行きに対する明るい見方が拡がらず、利上げ観測が後退したことを受けて上昇しましたが、大統領選挙後に財政赤字の拡大観測や物価上昇観測が高まり反落に転じました。ユーロ圏の国債は金融緩和の長期化観測を背景に途中まで堅調な展開となったものの、終盤には米国債が下落した余波を受けて下落しました。日本国債は日本銀行が1月にマイナス金利の導入を含む金融緩和策を打ち出して大きく上昇したものの、その後は金融緩和策の限界が意識されて力強さを欠く動きとなりました。

【為替市場の概況】

先行きに対する不透明感が高まったことを背景に米国の利上げ観測が後退したことを受けてドルは途中まで軟調な展開となりましたが、11月の大統領選挙後は景気の先行きに対する明るい見方が拡がると共に、利上げ観測が高まり反発に転じました。ユーロは政治的な混迷への懸念や景気の先行きに対する不透明感が高まるなかで、金融緩和の長期化観測が高まっていることから力強さを欠く展開となりました。円は、日本銀行の緩和策の限界が意識されると共に物価上昇観測が後退して、途中まで上昇基調となりましたが、米国の大統領選挙後は、リスク選好が強まるなかで米国や欧州との金利差が拡大して反落に転じました。

上記以外の通貨では、英ポンドが6月に行われた国民投票で欧州連合(EU)からの離脱が選択され、先行きへの不透明感が広がったことを受けて大きく下落した一方で、ブラジルレアルや南アフリカランドなどの資源国通貨が上昇しました。

組入ファンドと為替レートの動き

バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は、+10.49%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は、△0.15%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は、△2.35%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は、+12.99%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は、+12.79%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は、+0.60%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は、+1.33%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は、+3.97%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



為替レートの推移(対米ドル)

当期の対米ドルの為替レートは、4.96%の円高(ファンドの基準価額にはマイナスの影響)*でした。

*当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行なう仕組みとなっておりますので為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。

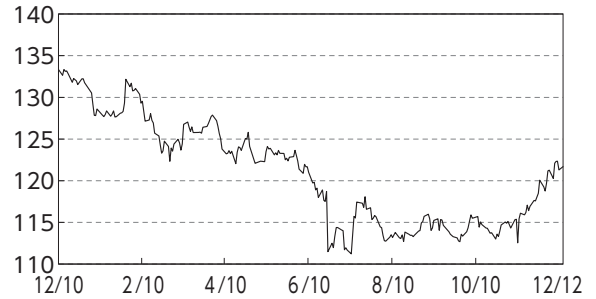


為替レートの推移(対ユーロ)

当期の対ユーロの為替レートは、9.09%の円高(ファンドの基準価額にはマイナスの影響)*でした。

*当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行なう仕組みとなっておりますので為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。

(円) 期間中の為替レート(対ユーロ)の推移



今後の運用方針

定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。原則として新規の流入資金を利用して、定められた投資比率に沿うように分散投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合はファンドの売却と購入による比率の調整を行います。

運用部長 瀬下 哲雄

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第10期
	2015年12月11日~2016年12月12日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,962

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015年12月11日~2016年12月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	63円 (35) (23) (5)	0.511% (0.284) (0.186) (0.041)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ・ 委託した資金の運用の対価 ・ 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	63	0.512	
期中の平均基準価額は12,332円です。			

- ・ 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・ 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・ 財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・ 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・ 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに少数点以下第4位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

期中の売買及び取引の状況 (2015年12月11日から2016年12月12日まで)**投資証券**

投資証券		買付 金額	売付 金額
外 国	ア イ ル ラ ン ド	千円	千円
		バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	646,300
	バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	1,863,700	1,047,678
	バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	千米ドル	千米ドル
	バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	46,296	8,189
	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	3,371	243
	バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	12,150	-
	バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	56,490	3,189
千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	20,569	1,068
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	29,641	1,190	

- ・金額は受渡し代金です。
- ・千単位未満は切捨てて表示しております。

利害関係人との取引状況等 (2015年12月11日から2016年12月12日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

- ・利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2015年12月11日から2016年12月12日まで)

該当事項はありません。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2015年12月11日から2016年12月12日まで)

該当事項はありません。

組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細 (2016年12月12日現在)

ファンド名	当 期 末				
	単位数 又は口数	評 価 額		比 率	
		外貨建金額	邦貨換算金額		
株式ファンド					
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 518	千円 5,201,738	千円 5,201,738	% 4.1	
バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	千口 12,556	千米ドル 310,301	千円 35,830,505	% 28.3	
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	111	23,137	2,671,728	2.1	
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	406	60,993	7,042,930	5.6	
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千口 6,360	千ユーロ 112,942	千円 13,743,945	% 10.9	
小 計	口 数 ・ 金 額	19,953	-	64,490,848	51.0
	銘 柄 数	5	-	-	
債券ファンド					
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 554	千円 9,031,427	千円 9,031,427	% 7.1	
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 1,460	千米ドル 262,080	千円 30,262,408	% 23.9	
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 816	千ユーロ 179,396	千円 21,830,797	% 17.3	
小 計	口 数 ・ 金 額	2,830	-	61,124,633	48.3
	銘 柄 数	3	-	-	
合 計	口 数 ・ 金 額	22,784	-	125,615,482	99.4
	銘 柄 数	8	-	-	

・邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

・千単位未満は切捨てて表示しております。

・比率は、純資産総額に対する各通貨の投資証券評価額の比率です。

・比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

・ファンド・オブ・ファンズが組み入れた外貨建てファンドの明細には外国で投資されている円建て資産を含みます。

投資信託財産の構成

(2016年12月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 125,615,482	% 99.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,167,486	0.9
投 資 信 託 財 産 総 額	126,782,968	100.0

- ・金額の千円未満は切捨てて表示しております。比率は小数点第2位を四捨五入しています。
- ・当期末における外貨建資産(125,615,482千円)の投資信託財産総額(126,782,968千円)に対する比率は99.1%です。
- ・外貨建純資産は、期末の時価を我国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=115.47円、1ユーロ=121.69円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

当期末 2016年12月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	126,782,968,486円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,167,486,234
投 資 証 券 (評 価 額)	125,615,482,252
(B) 負 債	388,185,165
未 払 解 約 金	99,392,534
未 払 信 託 報 酬	288,246,881
そ の 他 未 払 費 用	545,750
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	126,394,783,321
元 本	95,890,162,583
次 期 繰 越 損 益 金	30,504,620,738
(D) 受 益 権 総 口 数	95,890,162,583
1万口当り基準価額 (C/D)	13,181

期首元本	79,957,662,787円
期中追加設定元本額	21,696,257,309円
期中一部解約元本額	5,763,757,513円
1口当たり純資産額	1.3181円
・当運用報告書作成時点では監査未了です。	

損益の状況

当期 自2015年12月11日 至2016年12月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	7,288,852円
受 取 利 息	21,850
そ の 他 収 益 金	7,786,276
支 払 利 息	△519,274
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	598,081,228
売 買 益	5,400,043,702
売 買 損	△4,801,962,474
(C) 信 託 報 酬 等	△558,613,617
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	46,756,463
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	23,701,861,337
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,756,002,938
(配 当 等 相 当 額)	22,733,109,025
(売 買 損 益 相 当 額)	△15,977,106,087
(G) 合 計 (D + E + F)	30,504,620,738
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	30,504,620,738
追 加 信 託 差 損 益 金	6,756,002,938
(配 当 等 相 当 額)	22,733,109,025
(売 買 損 益 相 当 額)	△15,977,106,087
分 配 準 備 積 立 金	24,851,115,481
繰 越 損 益 金	△1,102,497,681

- ・(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- ・(C)信託報酬等には信託報酬に関わる消費税等を含めて表示しています。
- ・(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- ・計算期間末における費用控除後の配当等収益(585,489円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(22,733,109,025円)および信託約款に定める分配準備積立金(24,850,529,992円)より分配対象収益は47,584,224,506円(1万口当たり4,962円)ですが、当期に分配した金額はありません。
- ・当運用報告書作成時点では監査未了です。

お知らせ

該当事項はありません。

<組入投資対象ファンドの内容>

以下は、当ファンドが投資対象としている外国投資証券の運用状況です。

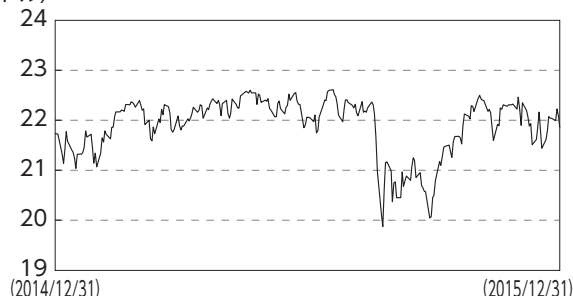
本書作成日時点で入手できる直近の情報として2015年12月末日現在の内容を記載しております。

- ・投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・構成比率は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・株式の業種は世界産業分類基準による分類です。
- ・債券の格付情報はS&P、ムーディーズ、フィッチ社の格付を記載しています。

1. バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.10

■組入上位10銘柄

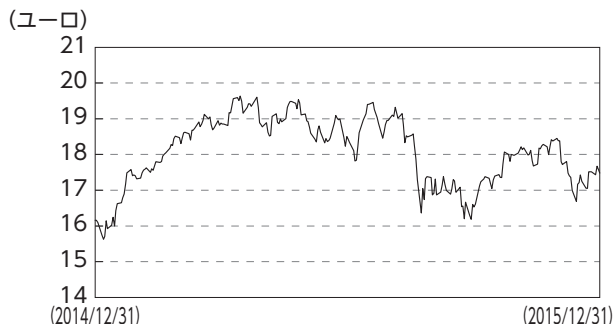
	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	Apple Inc.	情報技術	3.3
2	Alphabet Inc.	情報技術	2.5
3	Microsoft Corp.	情報技術	2.5
4	Exxon Mobil Corp.	エネルギー	1.8
5	General Electric Co.	資本財・サービス	1.6
6	Johnson & Johnson	ヘルスケア	1.6
7	Amazon.com Inc.	一般消費財・サービス	1.4
8	Wells Fargo & Co.	金融	1.4
9	Berkshire Hathaway Inc.	金融	1.4
10	JPMorgan Chase & Co.	金融	1.3
	組入銘柄数	504銘柄	

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	S&P500 インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	情報技術	20.7	20.7
	金融	16.5	16.5
	ヘルスケア	15.0	15.1
	一般消費財・サービス	12.9	12.9
	生活必需品	10.1	10.1
	資本財・サービス	10.0	10.0
	エネルギー	6.5	6.5
	公益事業	3.0	3.0
	素材	2.8	2.8
	電気通信サービス	2.4	2.4

2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.30

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率 (%)
1	Nestle SA	スイス	生活必需品	3.0
2	Novartis AG	スイス	ヘルスケア	2.5
3	Roche Holding AG	スイス	ヘルスケア	2.4
4	HSBC Holdings plc	イギリス	金融	1.9
5	Royal Dutch Shell plc	オランダ	エネルギー	1.8
6	Unilever	オランダ	生活必需品	1.6
7	Novo Nordisk A/S	デンマーク	ヘルスケア	1.4
8	Bayer AG	ドイツ	ヘルスケア	1.3
9	British American Tobacco plc	イギリス	生活必需品	1.3
10	Sanofi	フランス	ヘルスケア	1.3
組入銘柄数			456銘柄	

■国・地域別構成比率

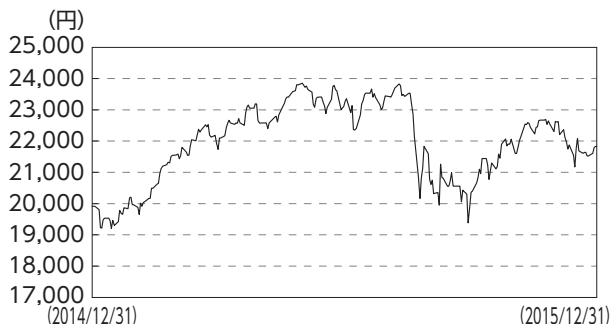
資産の種類	国/地域	構成比率 (%)	MSCI Europe・インデックス ベンチマーク構成比 (%)
株式	イギリス	30.1	30.1
	フランス	15.1	15.1
	スイス	14.6	14.6
	ドイツ	14.1	14.1
	スペイン	4.9	4.9
	オランダ	4.5	4.5
	スウェーデン	4.4	4.4
	イタリア	3.7	3.7
	デンマーク	3.0	3.0
	ベルギー	2.2	2.2

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率 (%)	MSCI Europe・インデックス ベンチマーク構成比 (%)
株式	金融	22.6	22.6
	生活必需品	14.8	14.8
	ヘルスケア	14.0	14.0
	一般消費財・サービス	11.7	11.7
	資本財・サービス	11.2	11.2
	素材	6.5	6.5
	エネルギー	6.2	6.2
	電気通信サービス	5.0	5.0
	情報技術	4.1	4.1
	公益事業	3.9	3.9

3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.23

■組入上位10銘柄

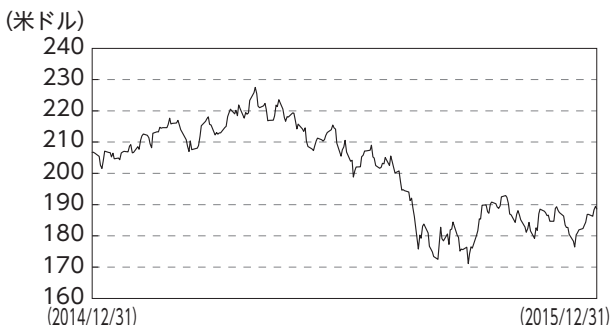
	銘柄名称	業種	投資比率 (%)
1	トヨタ自動車(株)	一般消費財・サービス	5.9
2	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	金融	2.8
3	本田技研工業(株)	一般消費財・サービス	1.8
4	ソフトバンク(株)	電気通信サービス	1.7
5	(株)三井住友フィナンシャルグループ	金融	1.7
6	(株)みずほフィナンシャルグループ	金融	1.6
7	KDDI(株)	電機通信サービス	1.6
8	日本たばこ産業(株)	生活必需品	1.4
9	武田薬品工業(株)	ヘルスケア	1.4
10	(株)セブン&アイ・ホールディングス	生活必需品	1.2
組入銘柄数			318銘柄

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率 (%)	MSCI ジャパン・インデックス ベンチマーク構成比 (%)
株式	一般消費財・サービス	21.8	21.8
	金融	19.3	19.3
	資本財・サービス	18.6	18.6
	情報技術	10.4	10.4
	ヘルスケア	8.1	8.1
	生活必需品	7.6	7.6
	素材	5.6	5.6
	電気通信サービス	5.3	5.3
	公益事業	2.5	2.5
	エネルギー	0.8	0.8

4. バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.23

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	Commonwealth Bank of Australia	オーストラリア	金融	7.5
2	Westpac Banking Corp.	オーストラリア	金融	5.7
3	AIA Group Ltd.	香港	金融	5.1
4	Australia & New Zealand Banking Group Ltd.	オーストラリア	金融	4.1
5	National Australia Bank Ltd.	オーストラリア	金融	4.1
6	BHP Billiton	オーストラリア	素材	3.0
7	CK Hutchison Holdings Ltd.	香港	資本財・サービス	2.6
8	CSL Ltd.	オーストラリア	ヘルスケア	2.5
9	Wesfarmers Ltd.	オーストラリア	生活必需品	2.4
10	Hong Kong Exchanges and Clearing Ltd.	香港	金融	2.1
組入銘柄数		151銘柄		

■国・地域別構成比率

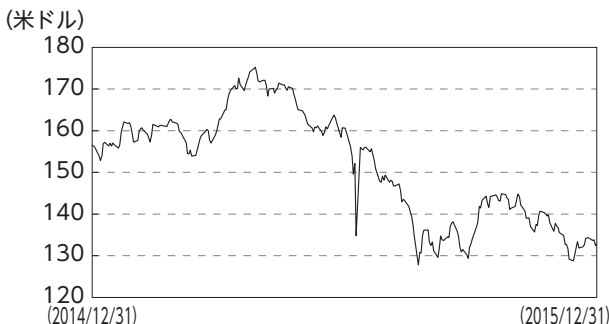
資産の種類	国/地域	構成比率(%)	MSCI パシフィック・エクスジャパン・インデックスベンチマーク構成比(%)
株式	オーストラリア	60.3	60.3
	香港	27.3	27.3
	シンガポール	11.0	11.0
	ニュージーランド	1.4	1.4

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	MSCI パシフィック・エクスジャパン・インデックスベンチマーク構成比(%)
株式	金融	56.4	56.4
	資本財・サービス	9.4	9.4
	素材	7.6	7.6
	公益事業	5.6	5.6
	生活必需品	5.3	5.3
	一般消費財・サービス	4.7	4.7
	ヘルスケア	4.1	4.1
	電気通信サービス	3.7	3.7
	エネルギー	2.8	2.8
	情報技術	0.4	0.4

5. バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.27

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	Samsung Electronics Co. Ltd.	韓国	情報技術	4.0
2	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	台湾	情報技術	3.1
3	Tencent Holdings Ltd.	中国	情報技術	2.9
4	China Mobile Ltd.	中国	電気通信サービス	2.0
5	China Construction Bank Corp.	中国	金融	1.7
6	Naspers Ltd.	南アフリカ	一般消費財・サービス	1.6
7	Industrial & Commercial Bank of China Ltd.	中国	金融	1.3
8	Alibaba Group Holding Ltd.	中国	情報技術	1.2
9	Bank of China Ltd.	中国	金融	1.0
10	Hon Hai Precision Industry Co. Ltd.	台湾	情報技術	1.0
組入銘柄数			858銘柄	

■国・地域別構成比率

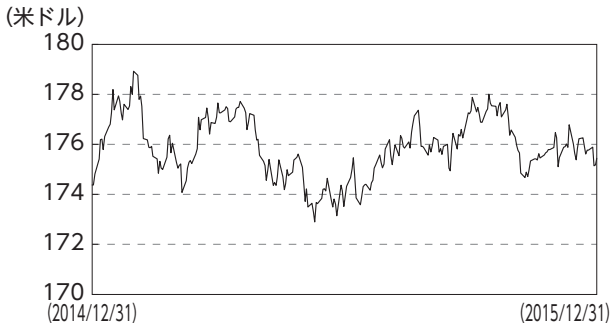
資産の種類	国/地域	構成比率(%)	MSCI エマージング マーケット・インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	中国	26.7	26.6
	韓国	15.6	15.6
	台湾	12.1	12.1
	インド	8.7	8.7
	南アフリカ	6.8	6.8
	ブラジル	5.4	5.5
	メキシコ	4.5	4.4
	ロシア	3.4	3.4
	マレーシア	3.3	3.3
	インドネシア	2.6	2.6

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	MSCI エマージング マーケット・インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	金融	27.9	28.0
	情報技術	21.0	20.8
	一般消費財・サービス	10.0	10.0
	生活必需品	8.3	8.3
	エネルギー	7.1	7.1
	資本財・サービス	7.0	7.0
	電気通信サービス	6.7	6.8
	素材	6.0	6.0
	公益事業	3.1	3.1
	ヘルスケア	2.9	2.9

6. バンガード・U.S.ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.20

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	証券種別	利率 (%)	償還年月日	投資比率 (%)
1	US TREASURY N/B	国債証券	0.875	2018/1/15	1.86
2	US TREASURY N/B	国債証券	1.750	2022/3/31	1.78
3	US TREASURY N/B	国債証券	1.750	2023/5/15	1.75
4	US TREASURY N/B	国債証券	3.500	2020/5/15	1.67
5	US TREASURY N/B	国債証券	0.750	2018/4/15	1.50
6	US TREASURY N/B	国債証券	4.625	2017/2/15	1.42
7	US TREASURY N/B	国債証券	2.125	2025/5/15	1.31
8	US TREASURY N/B	国債証券	0.875	2017/6/15	1.30
9	US TREASURY N/B	国債証券	2.875	2043/5/15	1.28
10	US TREASURY N/B	国債証券	2.625	2020/11/15	1.20
組入銘柄数			318銘柄		

■残存期間別構成比率

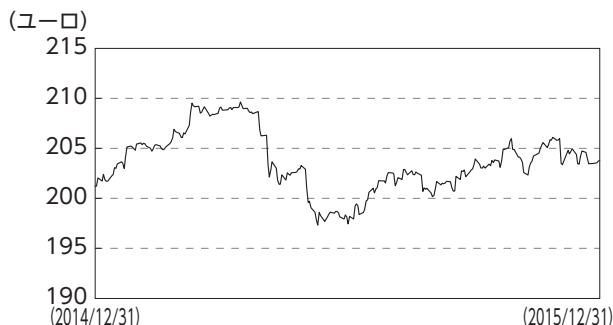
期 間	構成比率 (%)
5年未満	59.2
5年以上10年以下	25.9
10年超	14.9

■格付別構成比率

格 付	構成比率 (%)
AAA	99.8
NR	0.2

7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.20

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	証券種別	利率(%)	償還年月日	投資比率(%)
1	FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY BOND	ドイツ	国債証券	0.250	2018/4/13	0.95
2	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	3.500	2026/4/25	0.72
3	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	2.750	2027/10/25	0.72
4	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	4.750	2035/4/25	0.71
5	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	3.250	2021/10/25	0.69
6	REPUBLIC OF ITALY BOND	イタリア	国債証券	6.000	2031/5/1	0.68
7	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	3.750	2019/10/25	0.68
8	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	5.750	2032/10/25	0.64
9	REPUBLIC OF ITALY BOND	イタリア	国債証券	5.000	2025/3/1	0.64
10	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	2.250	2022/10/25	0.63
組入銘柄数			697銘柄			

■残存期間別構成比率

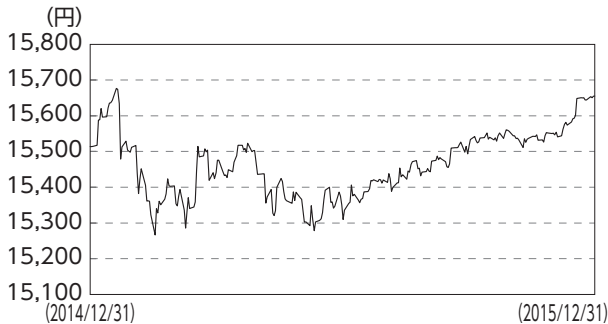
期間	構成比率(%)
5年未満	41.2
5年以上10年以下	33.6
10年超	25.2

■格付別構成比率

格付	構成比率(%)
AAA	27.8
AA	34.5
A	3.2
BBB	34.8
NR	△0.3

8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.20

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	証券種別	利率 (%)	償還年月日	投資比率 (%)
1	第117回利付国債(5年)	国債証券	0.200	2019/3/20	2.00
2	第122回利付国債(5年)	国債証券	0.100	2019/12/20	1.78
3	第338回利付国債(10年)	国債証券	0.400	2025/3/20	1.67
4	第125回利付国債(5年)	国債証券	0.100	2020/9/20	1.54
5	第334回利付国債(10年)	国債証券	0.600	2024/6/20	1.49
6	第124回利付国債(5年)	国債証券	0.100	2020/6/20	1.44
7	第117回利付国債(20年)	国債証券	2.100	2030/3/20	1.33
8	第123回利付国債(5年)	国債証券	0.100	2020/3/20	1.28
9	第336回利付国債(10年)	国債証券	0.500	2024/12/20	1.27
10	第116回利付国債(5年)	国債証券	0.200	2018/12/20	1.26
組入銘柄数		370銘柄			

■残存期間別構成比率

期 間	構成比率 (%)
5年未満	38.8
5年以上10年以下	24.6
10年超	36.6

■格付別構成比率

格 付	構成比率 (%)
AAA	0.4
AA	0.1
A	94.4
NR	5.1

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む)及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。

従って、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

- ・MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIヨーロッパ・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、ヨーロッパの先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIパシフィック・エクスジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、太平洋地域の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国および新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。
- ・S&P500は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。
S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失(収入の損失、利益の損失、機会費用を含む)について一切の責任を負いません。

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することがありますのでご了承ください。

バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	→	U.S.500ストック及びU.S.500ストック・インデックス・ファンド
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	→	ヨーロッパ・ストック及びヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→	ジャパン・ストック及びジャパン・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→	パシフィック・エクスジャパン・ファンド及びパシフィック・エクスジャパン・ストック・ファンド
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	→	エマージング・マーケット・ストック及びエマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→	U.S.・ガバメント・ボンド及びU.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→	ユーロ・ガバメント・ボンド及びユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→	ジャパン・ガバメント・ボンド及びジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

TOPICS：《当社の直接販売の状況 第10期(2015年12月11日～2016年12月12日)》

○ 当期のふりかえり

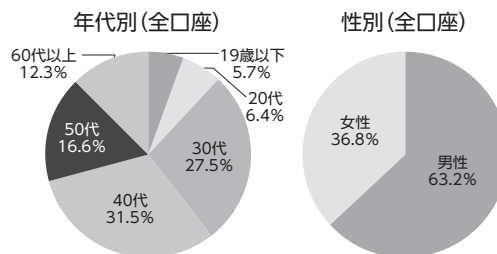
2016年 4月	ホームページをリニューアル
5月	お客さま口座数 11万口座
6月	会社設立10周年
10月	純資産総額1,500億円
11月	純資産総額1,600億円

○ 2016年12月12日現在 お客さま口座数 116,229件(前期比+14.1%増)

イギリス国民投票によるEU離脱の選択や米国の大統領選挙など政治的な要因も相まって、株式市場の変動が大きな期間となりましたが、お客さまはこの1年間で14,377名増加しました。口座の増加数は、前期間と比べ減少しておりますが、相場環境に不安定さが目立つ中、毎月1千件前後の口座開設を受付いたしました。(前期間末のお客さま口座数101,852件、口座増加数+25,169件)

○ お客さまの特徴

年代別は前期から大きな変化はなく「資産形成層」の30代～40代が59.0%と大きな割合を占めています。性別の構成は女性比率が前期から1.0%増えています。



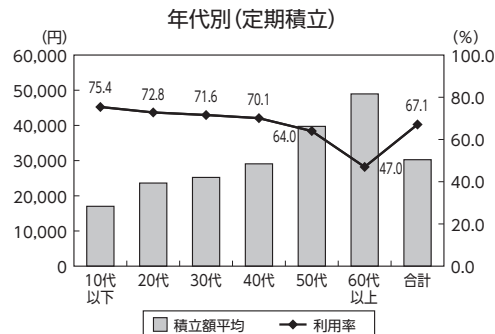
○ ファンドの設定・解約の状況(当社ファンドの合計)

当期も、設定額が解約額を毎月上回り、純資金流入が継続しています。純資金流入額は271.6億円(金額ベース)で、前期の金額(266.5億円)を上回り、開業来最多額となりました。

○ 定期積立プラン

当サービスの利用率は67.1%となっております。前期に比べ口座開設数が減ったこともあり、利用率は若干減少(前期から△0.9%)しています。

・定期積立プランは、当社が運用、販売するファンド2種類のいずれか、もしくは両ファンド定期積立サービスをご利用いただいている方を対象としてデータを作成しています。また積立額平均、利用率は2016年12月時点の数値であり、積立額平均は増額月の増額分の金額を含まない平均値です。



相場環境によらず、安定して新しいお客さまが増えた1年となり、これも皆さまのおかげと深く感謝しております。

これからも皆さまからいただく評価を受け止め、共に長期で成長する会社であり続けるため、一つ一つのこだわりを大切にお客さまのために誠実なサービスの提供に努めてまいります。

- ・お客さまの特徴や口座、金額は、保有しているファンドの種類や有無に関係なく当社に口座を開設していただいているお客さまを集計したものととなります。
- ・金額は、明記されたものを除き当社が運用、販売するファンド2種類を合計した数値となっております。